

朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

■平成 30 年度 朝日連峰保全協議会 合同保全作業の報告について

平成 30 年 9 月 1 日（土）、9 月 2 日（日）に、朝日連峰三方境において、朝日連峰保全協議会第 10 回会合で決定された合同保全作業を行いました。8 月 5 日（日）・6 日（月）の大雨の影響で日暮沢小屋手前の林道が崩落、途中から通行止めとなり復旧が待たれる中、加えて 31 日（金）再度の大雨で開催が危ぶまれましたが、なんとか天気も持ち直し、11 回目（平成 20 年実証試験を含む）を迎える当会の保全作業は、実施の運びとなりました。

三方境は、風衝地で、風衝裸地、登山道の複線化、踏圧及び流水によるガリー侵食等によって現在も荒廃が進行しており、平成 20 年度実証実験、平成 22 年度、平成 24 年度の合同保全作業に続き、今回で 4 度目の作業となります。作業概要としては以下のとおりです。

【実施スケジュール】

●9 月 1 日（土）

- 6:30 日暮沢口集合、点呼・挨拶・開会式
- 6:50 登山開始
- 14:30 狐穴小屋到着
- 保全作業資材運搬・班長打合せ
- 16:00 作業終了

●9 月 2 日（日）

- 6:30 狐穴小屋発
- 6:50 三方境着
- 保全作業
- 10:40 作業ふりかえり・講評
- 11:30 解散、各自下山開始



【開会式の様子】



【出発前、渋谷代表（写真中央）の挨拶】

【作業内容】

■作業報告

9 月 1 日、日暮沢小屋手前の通行止めゲート前に集合し、開会式を行いました。朝日連峰保全協議会渋谷代表から挨拶をいただき、保全作業の実施箇所に向けて登山を開始しました。狐穴小屋に到着後、事前に小屋前に荷上げてあったヤシ繊維・土嚢・植生マットなどを三方境に運びました。班長は事前打合せを行い、作業場所詳細の確認・工程について話し合いました。西川山岳会様のお取りはからいでほぼ全員が狐穴小屋に宿泊しました。

9月2日の作業の概要としては以下のとおりです。

○今回の作業は、過去に施工した石組み及び土嚢による小ダムの修繕をメインに、ヤシロールを使った分散排水、ネットによる植生回復措置を行いました。

○技術部会員4名を班長とし4班に分かれ作業しましたが、初参加の人も多く、保全作業で使う言葉・工法などを説明しながらの作業となりました。

○植生回復が見込める風衝の影響が比較的少ない箇所には、保湿性が高く、植物の発芽が期待できる黄麻製緑化ネットを設置しました。風衝による乾燥化、黄麻ネットの劣化を防ぐため、部分的に黄麻ネットの上にヤシネットを被せる二重ネットを試みました。

○ヤシ土嚢にヤシ繊維を詰めて、登山道の段差箇所などに配置しました。

○ヤシネットに土砂、ヤシの繊維を詰めてロールを作り敷設することで、登山道を流下する雨水が植生のしっかりした斜面に排水・散水されるよう分散排水工を設置しました。

■作業風景

【あらかじめ荷上げされた保全資材】



【上空から見た三方境の様子】



【作業の様子①】



【作業の様子②】

今回の作業には11団体、32名の方々の参加がありました。

今回の作業では、西川山岳会の皆様に多岐に渡り事前準備にご協力いただき、当日は渋谷代表より統括リーダーとして全体の指揮監督等、子細に渡りご尽力いただきました。また、狐穴小屋、竜門小屋の管理人様には



【作業の様子③】

宿泊に際し臨機応変にご対応いただき、大変お世話になりました。東京都、福島県、新潟県等遠方からの参加者もあり、多くの方にご協力いただきました。

今回使用した資材は山形県村山総合支庁及び環境省東北地方環境事務所より提供がありました。作業に関わっていただいた山岳関係者の皆様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

(保全作業はあらかじめ許可をとって実施しています。)



【作業終了後ふり返りの様子】

【参考ホームページ】

- ・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
(朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等)
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
- ・東北地区アクティブレンジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

【発行者】

朝日連峰保全協議会 (事務局) 羽黒自然保護官事務所 (櫻庭、澁谷)

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777 ・ 080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail : RO-HAGURO@env.go.jp